

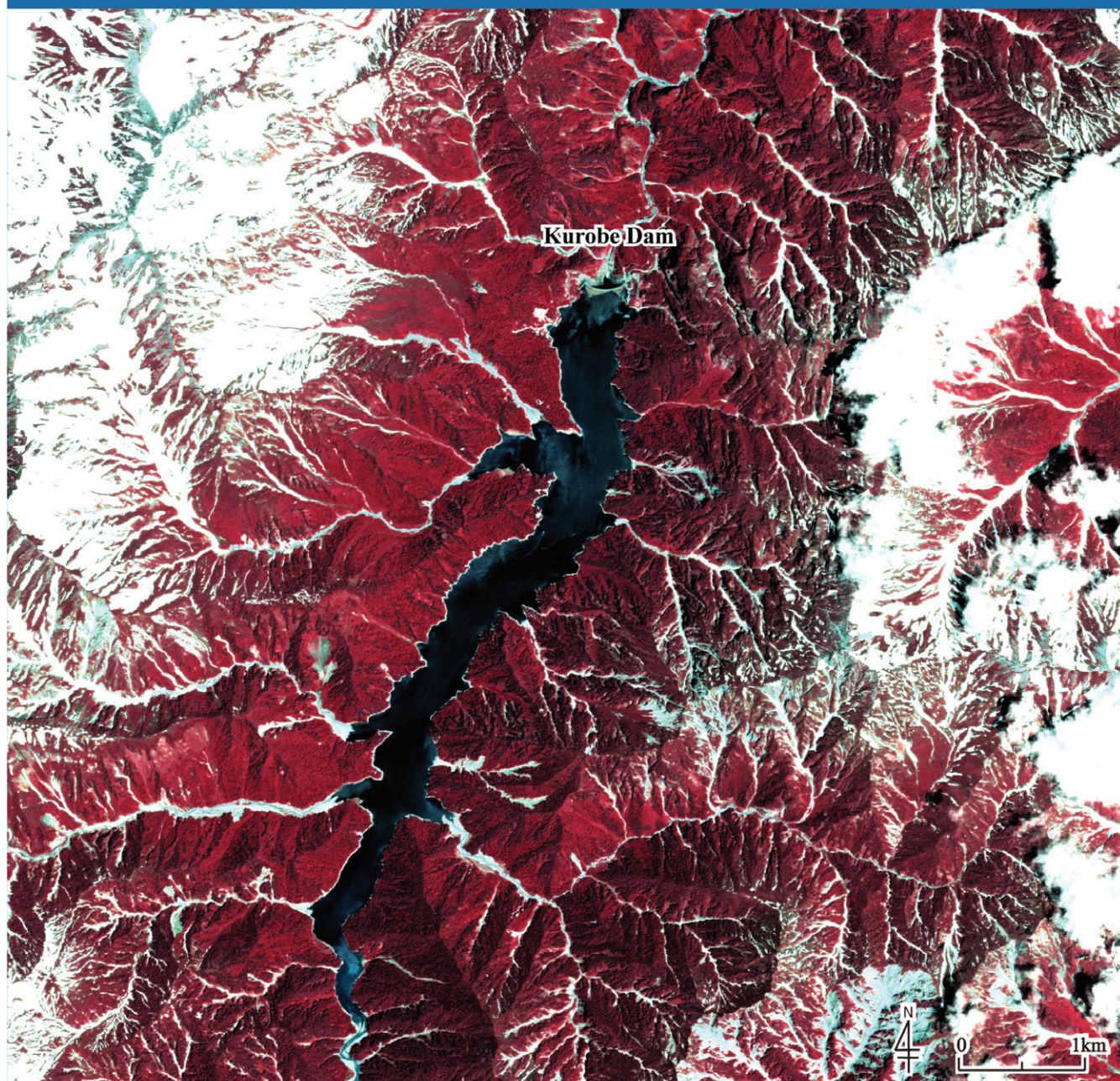
陸域観測技術衛星ALOS(だいち)がとらえた「富山県黒部湖周辺」(1)

データ提供：財団法人リモート・センシング技術センター

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前号から陸域観測技術衛星ALOS (Advanced Land Observing Satellite) から見た「国土の姿」を紹介しています。下図は、富山県・黒部湖周辺の画像です。ALOSに搭載されたパングロマチック立体視センサ (PRISM: Panchromatic Remote sensing Instrument for Stereo Mapping) と高性能可視近赤外放射計2型 (AVNIR-2: Advanced Visible and Near Infrared Radiometer type 2) から観測された2種類の画像を合成したもので、Pan-sharpened imageと呼ばれています。光学センサデータ (AVNIR-2データ: 地上分解能10m) が有するスペクトル情報が高分解能であるパングロマチック画像上 (PRISMデータ: 地上分解能2.5m) に重なった結果がPan-sharpened image上に現れます。画像中央部は、黒部ダムによって形成された黒部湖です。アーチ式コンクリートダムの形、積雪にもなって視認できる尾根や谷部部の地形状況等、黒部峡谷の峰々を眺めつつ、判読の視野を広げてみて下さい。

ALOS AVNIR-2 + PRISM Pan-sharpened image (False-color)
Observation date : June 23, 2007 Ground resolution : 2.5m / pixel



R : Band 4 G : Band 3 B : Band 2

© JAXA Distribution RESTEC